

タイワンシジミ対策について

宮川用水管内では平成24年頃から外来貝類（タイワンシジミ）が繁殖し、農業水利施設（パイプライン、給水栓等）に詰まるなどの通水障害が発生しています。

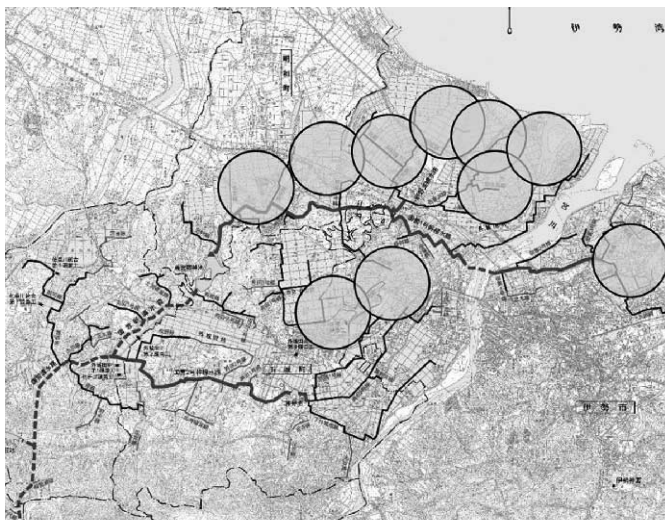
特にパイプライン末端の給水栓詰まりの被害は甚大で、該当地区の組合員の皆様には大変ご迷惑をおかけしています。

その被害箇所は年々増加しており、当改良区では被害の軽減対策として、主要水路の排泥工において定期的な排出作業、また、地元管理施設においても関係役員様に排出作業のお願いを行っているところです。

現在、抜本的な解決には至っていませんが、東海農政局、三重県、三重大学と連携をはかり、今後は生物学的及び工学的観点から、被害軽減の対策や施設構造について検討をして頂いています。

組合員の皆様におかれましても給水施設利用時は一度給水栓を大きく開けて一定時間開放して頂き、異物等を排出する作業を行って下さい。

また、利用の際は少量の給水ではなく、できる限り短時間で補給できるような操作をお願いします。



混入被害の多発地区



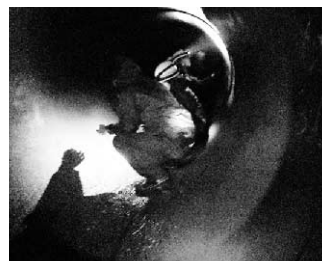
排出作業状況



排出されたタイワンシジミ



現場調査(三重大学)



国営幹線水路管内調査

中学生による職場体験学習

今年も城田中学校から4名の生徒が職場体験学習に来て頂きました。この職場体験学習では、レベル測量や揚水機場の保守点検作業を行って頂きました。この体験が将来、少しでも役に立つことを願っています。

職場体験期間 11月28日～30日の3日間



レベル測量



揚水機場の保守点検作業